

令和５年度「数学」（クローバーグループ）年間指導計画	
【３年間の目標】	
知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
思考力，判断力，表現力等	日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したりする力を養う。
学びに向かう力，人間性等	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の指導計画】
Ⅰ 年次

時期	単元名	内容（小学校学習指導要領 算数）	指導内容	指導時数	小学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
4		クラス毎のアセスメント（学習履歴・定着状況の把握→習熟度別グループ編製の検討）				
5						
6						
前期 ／ 後期	整数と小数（５上）	A（２）整数、小数の記数法 P237 ア（ア）ある数の10倍,100倍,1000倍,1/10,1/100などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくること。 イ（ア）数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。	（レディネス） ・十進数としての整数、小数 ・小数や整数を10倍、100倍、1／10、1／100にしたときの数の表し方 ・十進位取り記数法と十進数の意味 （発展）	4 （５）	A(2)	A(高1)
	直方体・立方体の体積（５上）	B（４）立体図形の体積 P259 ア（ア）体積の単位(立方センチメートル(㎤),立方メートル(㎡))について知ること。 ア（イ）立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解すること。 イ（ア）体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。	（レディネス） ・直方体、立方体の概念、特徴、性質（直方体と立方体 ４下） ・直方体、立方体の面や辺の位置関係（垂直、平行）（直方体と立方体 ４下） ・体積の意味 ・体積の単位「立方センチメートル、立方メートル」と単位の相互関係 ・直方体、立方体の体積公式とその適用 ・複合図形の体積の求め方 ・体積の単位と既習の単位との関係 （発展）	8 （８）	B(4)	B(高2)
	比例（５上）	C（１）伴って変わる二つの数量の関係 P261 ア（ア）簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。 イ（ア）伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する。	（レディネス） ・比例の意味 （発展） ・比例の関係をx、yを使って式に表すこと（比例と反比例 ６） ・比例のグラフの理解（比例と反比例 ６）	6 （４）	C(1)	C(高2)
	小数のかけ算（５上）	A（３）小数の乗法、除法 P238 ア（ア）乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解すること。 ア（イ）小数の乗法及び除法の計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。 ア（ウ）小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。 イ（ア）乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりすること。	（レディネス） ・小数をかけることの意味 ・小数の乗法の考え方と筆算形式 ・純小数をかけるときの積と被乗数の関係 （発展） ・小数の場合も分配、交換、結合法則が成り立つこと	7 （９）	A(3)(6)	A(高1)
	小数のわり算（５上）	A（３）小数の乗法、除法	（レディネス） ・概数の意味（がい数の使い方と表し方 ４上） ・何十でわる除法計算（わり算の筆算 ４上） ・小数でわることの意味 ・小数の除法の考え方と筆算形式 ・純小数でわるときの商と被除数の関係 ・小数の除法におけるあまりの位取り ・商を概数で表すときの処理の仕方 （発展）	7 （９）	A(3)	A(高1)
	★小数の倍（５上）	A（３）小数の乗法、除法	（レディネス） ・倍に関する基準量変換 ・小数倍を適用する計算(第一、二、三用法)と小数倍の意味 （発展） ・簡単な場合についての割合	7 （５）	A(3)	A(高1)
	★合同な図形（５上）	B（１）平面図形の性質 P248 ア（ア）図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること。 ア（イ）三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。 ア（ウ）円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。 ア（エ）円周率の意味について理解し、それを用いること。 イ（ア）図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。	（レディネス） ・分度器を使った角度のはかり方（角の大きさ ４上） ・直線の垂直・平行の概念と引き方（垂直、平行と四角形 ４下） ・いろいろな四角形の対角線の性質（垂直、平行と四角形 ４下） ・合同の意味、合同な図形の弁別 ・合同な図形の性質 ・合同な三角形の作図と、三角形の決定条件の初歩 （発展） ・合同な平行四辺形の作図と、四角形の決定条件の初歩	9 （８）	B(1)	B(高1)

予備
2
計50

2 年次						
時期	単元名	内 容（小学校学習指導要領 算数）	指導内容	指導時数	小・中学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
	図形の角（５上）	B（1）平面図形の性質 P248 ア（ア）図形の大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること ア（イ）三角形や四角形等の多角形について簡単な性質を理解すること。 イ（ア）図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だしに、その性質を道筋立てて考え説明したりすること。	（レディネス） ・いろいろな四角形の対角線の性質（垂直、平行と四角形 ４下） ・三角形の内角の和は180°であること ・多角形の内角の和の考察 （発展） ・1種類の合同な四角形だけで平面を敷き詰められること	6 （6）	B(1) 内取(2)	B(高1)
	★偶数と奇数、倍数と約数 （５上）	A（1）整数の性質 P234 ア（ア）整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを知ること。 ア（イ）約数、倍数について知ること。 イ（ア）乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・偶数、奇数、倍数、約数の意味とその類別 ・公倍数、最小公倍数の意味とその見つけ方 ・公約数、最大公約数の意味とその見つけ方 （発展）	5 （12）	A(1) 内取(1)	A(高2)

前期 ／ 後期	★分数と小数、整数の関係（５上）	A（４）分数の意味と表し方　P243 ア（ア）整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。 ア（イ）整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解すること。 ア（ウ）一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。 ア（エ）分数の相等及び大小について知り、大小を比べること。 イ（ア）数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察すること。 イ（イ）分数の表現に着目し、除法の結果の表し方を振り返り、分数の意味をまとめること。	（レディネス） ・整数のわり算の商を分数で表すこと ・分数と小数、整数の相互関係 （発展） ・分数倍の意味	6 （６）	A(4)	A(高2)
	分数のたし算とひき算（５下）	A（４）分数の意味と表し方 A（５）分数の加法，減法　P246 ア（ア）異分母分数の分数の加法および減法の計算ができること。 イ（ア）分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えること。	（レディネス） ・分数の相等関係と大小比較　（分数　４下） ・同分母分数の加減計算　（分数　４下） ・通分の意味とその方法 ・約分の意味とその方法 ・異分母分数の加法、減法の計算 （発展） ・分数と小数の混じった加減計算 ・時間の分数表示	9 （11）	A(4)(5)	A(高2)
	平均（５下）	D（２）測定値の平均　P274 ア（ア）平均の意味について理解すること。 イ（ア）概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・（　）を用いた式の計算順序　（計算のきまり　４下） ・平均の意味と求め方 ・平均から全体量を求める方法 （発展） ・仮の平均　（★）	5 （５）	D(2)	D(高1)
	単位量あたりの大きさ（５下）	C（２）異種の二つの量の割合　P264 ア（ア）速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること。 イ（ア）異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・単位量あたりの大きさの意味 ・人口密度の意味と求め方 ・速さの意味と表し方 （発展） ・速さに関する公式とその適用	8 （10）	C(2)	C(高1)

予備
I
計40

3 年次						
時期	単元名	内容（小学校学習指導要領　算数）	指導内容	指導時数	小学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
前期 ／ 後期	四角形と三角形の面積（５下）	A（６）数量の関係を表す式 B（３）平面図形の面積 ア（ア）三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。 イ（ア）図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。 C（１）伴って変わる二つの数量の関係	（レディネス） ・平行四辺形の面積の求め方、面積公式とその適用 ・三角形の面積の求め方、面積公式とその適用 ・三角形の高さと面積の関係 （発展） ・台形やひし形の面積の求め方、面積公式とその適用	7 （11）	A(6)B(3) C(1)	B(高1) A(高2) C(高1)
	★割合（５下）	C（３）割合　P266 ア（ア）ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。 ア（イ）百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。 イ（ア）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・小数倍を適用する計算と小数倍の意味　（小数の倍　５上） ・割合の意味とその求め方 ・百分率の意味とその表し方 ・歩合の意味とその表し方 ・百分率を適用した計算方法 （発展）	9 （9）	C(3) 内取(4)	C(高1)
	帯グラフと円グラフ（５下）	D（１）円グラフや帯グラフ　P271 ア（ア）円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解すること。 ア（イ）データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ること。 イ（ア）目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択肢で判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。	（レディネス） ・帯グラフ、円グラフの読み方、特徴、かき方 ・統計的な問題解決の方法 （発展）	6 （8）	D(1) 内取(5)	D(高1)
	変わり方調べ（５下）	A（６）数量の関係を表す式　P247 ア（ア）数量の関係を表す式についての理解を深めること。 イ（ア）二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察すること。	（レディネス） ・比例の意味　（比例　５上） ・図・表・式を用いて数量の規則性を見つける問題解決 （発展） ・数量の関係を、文字x、yを用いた式で一般的に表すこと　（文字と式　６）	3 （1）	A(6)	A(高1)
	正多角形と円周の長さ（５下）	B（１）平面図形の性質 ア（ウ）円と関連させて多角形の基本的な性質を知ること。 ア（エ）円周率の意味について理解し、それを用いること。 イ（ア）図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしに、その性質を道筋立てて考え説明したりすること。 A（６）数量の関係を表す式 C（１）伴って変わる二つの数量の関係	（レディネス） ・多角形の内角の和の考察　（図形の角　５上） ・正多角形の概念、性質、かき方 ・円周率の意味 （発展） ・円の直径の長さと円周の長さの関係	5 （9）	B(1) 内取(3) A(6) C(1)	B(高1)
	角柱と円柱（５下）	B（２）立体図形の性質　P254 ア（ア）基本的な角柱や円柱について知ること。 イ（ア）図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。	（レディネス） ・直方体、立方体の面や辺の位置関係（垂直、平行）　（直方体と立方体　４下） ・角柱、円柱の概念、特徴、性質 ・角柱、円柱の見取図、展開図 （発展）	6 （7）	B(2)	B(高2)
	★比（６）	A（２）文字を用いた式 C（２）比　P304 ア（ア）比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすること。 イ（ア）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係を比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・整数の割り算の商を分数で表すこと　（分数と小数、整数の関係　５上） ・割合／百分率／歩合の意味と表し方　（割合　５下） ・比の意味と表し方 ・比の値の意味と表し方 ・等しい比の意味と調べ方 ・比の相等関係とその活用、比例配分 （発展）	7 （8）	A(2)C(2)	C(高2)
1						
2		3年間のまとめ				
3						

予備
I
計44

令和５年度「数学」（ハートグループ）年間指導計画						
【３年間の目標】						
知識及び技能		数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。				
思考力，判断力，表現力等		日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したりする力を養う。				
学びに向かう力，人間性等		数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを学習に活用しようとする態度を養う。				
【単元の指導計画】						
Ⅰ 年次						
時期	単元名	内容（小学校学習指導要領 算数）	指導内容	指導時数	小学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
4						
5		クラス毎のアセスメント（学習履歴・定着状況の把握→習熟度別グループ編製の検討）				
6						
前期 ／ 後期	整数と小数（５上）	A（２）整数、小数の記数法 P237 ア（ア）ある数の10倍、100倍、1000倍、1/10、1/100などの大きさの数を、小数点の位置を移してつくること。 イ（ア）数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすこと。	（レディネス） ・10倍、1/10にした数の表し方（大きい数のしくみ ４上） ・小数を10倍、1/10にしたときの数の表し方（小数のしくみ ４上） ・十進数としての整数、小数 ・小数や整数を10倍、100倍、1/10、1/100にしたときの数の表し方 ・十進位取り記数法と十進数の意味 （発展）	5 (5)	A(2)	A(高1)
	直方体と立方体の体積（５上）	B（４）立体図形の体積 P259 ア（ア）体積の単位(立方センチメートル(㎤), 立方メートル(㎡))について知ること。 ア（イ）立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解すること。 イ（ア）体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。	（レディネス） ・直方体や立方体の概念、特徴、性質（直方体と立方体 ４下） ・直方体、立方体の面や辺の位置関係（垂直、平行）（直方体と立方体 ４下） ・体積の意味 ・体積の単位「立方センチメートル、立方メートル」と単位の相互関係 ・直方体、立方体の体積公式とその適用 ・複合図形の体積の求め方 （発展） ・体積の単位と既習の単位との関係	8 (8)	B(4)	B(高2)
	比例（５上）	C（１）伴って変わる二つの数量の関係 P261 ア（ア）簡単な場合について、比例の関係があることを知ること。 イ（ア）伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する。	（レディネス） ・2つの数量の対応関係を表に表したり、□や○を用いて式に表したりすること（変わり方調べ ４下） ・比例の意味 （発展）	5 (4)	C(1)	C(高2)
	小数のかけ算（５上）	A（３）小数の乗法、除法 P238 ア（ア）乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解すること。 ア（イ）小数の乗法及び除法の計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。 ア（ウ）小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。 イ（ア）乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりすること。	（レディネス） ・小数に整数をかける乗法と筆算形式（小数のかけ算とわり算 ４下） ・小数をかけることの意味 ・小数の乗法の考え方と筆算形式 ・純小数をかけるときの積と被乗数の関係 （発展） ・小数の場合も分配、交換、結合法則が成り立つこと	8 (9)	A(3)(6)	A(高1)
	小数のわり算（５上）	A（３）小数の乗法、除法	（レディネス） ・何十でわる除法計算（わり算の筆算 ４上） ・概数の意味（がいの数の使い方と表し方 ４上） ・小数でわることの意味 ・小数の除法の考え方と筆算形式 ・純小数でわるときの商と被除数の関係 ・商を概数で表すときの処理の仕方 （発展） ・小数の除法におけるあまりの位取り	8 (9)	A(3)	A(高1)
	★小数の倍（５上）	A（３）小数の乗法、除法	（レディネス） ・倍に関する基準量変換 ・小数倍を適用する計算(第一、二、三用法)と小数倍の意味 （発展） ・簡単な場合についての割合	6 (5)	A(3)	A(高1)
	★合同な図形（５上）	B（１）平面図形の性質 P248 ア（ア）図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること。 ア（イ）三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。 ア（ウ）円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。 ア（エ）円周率の意味について理解し、それを用いること。 イ（ア）図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。	（レディネス） ・分度器を使った角度のはかり方（角の大きさ ４上） ・直線の垂直・平行の概念と引き方（垂直、平行と四角形 ４下） ・いろいろな四角形の対角線の性質（垂直、平行と四角形 ４下） ・合同の意味、合同な図形の弁別 ・合同な図形の性質 ・合同な三角形の作図せ、 三角形の決定条件の初歩 （発展） ・合同な三角形の決定条件の初歩 ・合同な平行四辺形の作図と、四角形の決定条件の初歩	8 (8)	B(1)	B(高1)
予備				2	計 50	
2 年次						
時期	単元名	内容（小学校学習指導要領 算数）	指導内容	指導時数	小・中学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
	図形の角（５上）	B（1）平面図形の性質 P248 ア（ア）図形の大きさが決まる要素について理解するとともに、図形の合同について理解すること ア（イ）三角形や四角形等の多角形について簡単な性質を理解すること。 イ（ア）図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だしに、その性質を道筋立てて考え説明したりすること。	（レディネス） ・分度器を使った角度のはかり方（角の大きさ ４上） ・いろいろな四角形の対角線の性質（垂直、平行と四角形 ４下） ・三角形の内角の和は180°であること ・多角形の内角の和の考察 （発展） ・1種類の合同な四角形だけで平面を敷き詰められること	5 (6)	B(1) 内取(2)	B(高1)
	★偶数と奇数、倍数と約数（５上）	A（１）整数の性質 P234 ア（ア）整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを知ること。 ア（イ）約数、倍数について知ること。 イ（ア）乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・偶数、奇数の意味とその類別 ・倍数、公倍数、最小公倍数の意味とその見つけ方 ・約数、公約数、最大公約数の意味とその見つけ方 （発展）	6 (12)	A(1) 内取(1)	A(高2)

前期／後期	★分数と小数、整数の関係（５上）	A（４）分数の意味と表し方　P243 ア（ア）整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。 ア（イ）整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解すること。 ア（ウ）一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。 ア（エ）分数の相等及び大小について知り、大小を比べること。 イ（ア）数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察すること。 イ（イ）分数の表現に着目し、除法の結果の表し方を振り返り、分数の意味をまとめること。	（レディネス） ・真分数、仮分数、帯分数の概念、構成　（分数　４下） ・整数のわり算の商を分数で表すこと ・分数と小数、整数の相互関係 （発展） ・分数倍の意味	6 (6)	A(4)	A(高2)
	分数のたし算とひき算（５下）	A（４）分数の意味と表し方 A（５）分数の加法，減法　P246 ア（ア）異分母分数の分数の加法および減法の計算ができること。 イ（ア）分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えること。	（レディネス） ・分数の相等関係と大小比較　（分数　４下） ・同分母分数の加減計算　（分数　４下） ・通分の意味とその方法 ・約分の意味とその方法 ・異分母分数の加法、減法の計算 （発展） ・分数と小数の混じった加減計算 ・時間の分数表示	8 (11)	A(4)(5)	A(高2)
	平均（５下）	D（２）測定値の平均　P274 ア（ア）平均の意味について理解すること。 イ（ア）概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・（）を用いた式の計算順序　（計算のきまり　４下） ・平均の意味と求め方 ・平均から全体量を求める方法 （発展）	6 (5)	D(2)	D(高1)
	単位量あたりの大きさ（５下）	C（２）異種の二つの量の割合　P264 ア（ア）速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること。 イ（ア）異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・単位量あたりの大きさの意味 ・人口密度の意味と求め方 ・速さの意味と表し方 （発展） ・速さに関する公式とその適用	8 (10)	C(2)	C(高1)

予備
1
計40

3 年次						
時期	単元名	内 容（小学校学習指導要領　算数）	指導内容	指導時数	小・中学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
前期／後期	四角形と三角形の面積（５下）	A（６）数量の関係を表す式 B（３）平面図形の面積 ア（ア）三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。 イ（ア）図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。 C（１）伴って変わる二つの数量の関係	（レディネス） ・面積の意味／面積の単位　（面積のはかり方と表し方　４下） ・平行四辺形の面積の求め方、面積公式とその適用 ・三角形の面積の求め方、面積公式とその適用 （発展） ・台形やひし形の面積の求め方、面積公式とその適用 ・三角形の高さと面積の関係	7 (11)	A(6)B(3) C(1)	B(高1) A(高2) C(高1)
	★割合（５下）	C（３）割合　P266 ア（ア）ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。 ア（イ）百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。 イ（ア）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係を別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・小数倍を適用する計算と小数倍の意味　（小数の倍　５上） ・簡単な場合についての割合　（小数の倍　５上） ・割合の意味とその求め方 ・百分率の意味とその表し方 ・歩合の意味とその表し方 ・百分率を適用した計算方法 （発展）	9 (9)	C(3) 内取(4)	C(高1)
	帯グラフと円グラフ（５下）	D（１）円グラフや帯グラフ　P271 ア（ア）円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解すること。 ア（イ）データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ること。 イ（ア）目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択肢で判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。	（レディネス） ・帯グラフ、円グラフの読み方、特徴、かき方 ・統計的な問題解決の方法 （発展）	5 (8)	D(1) 内取(5)	D(高1)
	変わり方調べ（５下）	A（６）数量の関係を表す式　P247 ア（ア）数量の関係を表す式についての理解を深めること。 イ（ア）二つの数量の対応や変わり方に着目し、簡単な式で表されている関係について考察すること。	（レディネス） ・比例の意味　（比例　５上） ・図・表・式を用いて数量の規則性を見つける問題解決 （発展）	3 (1)	A(6)	A(高1)
	正多角形と円周の長さ（５下）	B（１）平面図形の性質 ア（ウ）円と関連させて多角形の基本的な性質を知ること。 ア（エ）円周率の意味について理解し、それを用いること。 A（６）数量の関係を表す式 C（１）伴って変わる二つの数量の関係	（レディネス） ・多角形の内角の和の考察　（図形の角　５上） ・正多角形の概念、性質、かき方 ・円周率の意味 （発展） ・正多角形のかき方 ・円の直径の長さと同周の長さの関係	5 (9)	B(1) 内取(3) A(6) C(1)	B(高1)
	角柱と円柱（５下）	B（２）立体図形の性質　P254 ア（ア）基本的な角柱や円柱について知ること。 イ（ア）図形を構成する要素に着目し、図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。	（レディネス） ・直方体、立方体の面や辺の位置関係（垂直、平行）　（直方体と立方体　４下） ・角柱、円柱の概念、特徴、性質 ・角柱、円柱の見取図、展開図 （発展）	6 (7)	B(2)	B(高2)
	★比（６）	A（２）文字を用いた式 C（２）比　P304 ア（ア）比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすること。 イ（ア）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係を比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・整数のわり算の商を分数で表すこと　（分数と小数、整数の関係　５上） ・割合／百分率／歩合の意味　（割合　５下） ・比の意味と表し方 ・比の値の意味と表し方 ・等しい比の意味と調べ方 （発展） ・比の相等関係とその活用、比例配分	8 (8)	A(2)C(2)	C(高2)
1	←					
2	←		3年間のまとめ			→
3	←					→

予備
1
計44

【3年間の目標】

知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
思考力，判断力，表現力等	日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
学びに向かう力，人間性等	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の指導計画】

1 年次						
時期	単元名	内容（小学校学習指導要領 算数）	指導内容	指導時数	小学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
4						
5		クラス毎のアセスメント（学習履歴・定着状況の把握→習熟度別グループ編製の検討）				
6						
前期／後期	大きい数のしくみ（4上）	A（1）整数の表し方 P181 ア（ア）億、兆の単位について知り、十進位取り記数法について理解を深めること。 イ（ア）数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・一億までの数の位取りの原理、数の構成（大きい数のしくみ 3上） ・億、兆に及ぶ数の構成、命数法と記数法 ・10倍、1／10にした数の表し方 ・十進位取り記数法と十進数の意味 （発展） ・3位数同士の乗法の筆算 ・末尾に0のある乗法の筆算	6 (7)	A(1) 内取(1)(3)	A(高1)
	折れ線グラフと表（4上）	D（1）データの分類整理 P220 ア（ア）データを二つの観点から分類整理する方法を知ること。 ア（イ）折れ線グラフの特徴とその用い方を理解すること。 イ（ア）目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察すること。	（レディネス） ・資料の分類・整理の仕方、項目のとり方、表し方（ばうグラフと表 3下） ・棒グラフのよみ方、 かき方、有用性 （ばうグラフと表 3下） ・折れ線グラフの読み方（伴って変わる2量の関係、折れ線の傾きと変化の度合いの考察） ・折れ線グラフのかき方 ・折れ線グラフの読み取りと未測量の考察 ・資料を落ちや重なりがないように分類整理し、表にまとめること ・棒グラフと折れ線グラフの合わせたグラフの読み取り （発展） ・二次元表の表し方	8 (9)	D(1) 内取(9)(10)	D(中2)
	わり算の筆算Ⅰ（4上）	A（3）整数の除法 P186 ア（ア）除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。 ア（イ）除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。 ア（ウ）除法について、次の関係を理解すること。（被除数）＝（除数）×（商）＋（余り） ア（エ）除法に関して成り立つ性質について理解すること。 イ（ア）数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算のたしかめをしたりすること。	（レディネス） ・ $a \div a$ 、 $0 \div a$ 、 $a \div 1$ の除法計算（わり算 3上） ・余りと除数の大きさの関係（あまりのあるわり算 3上） ・何十、何百を1位数でわる除法計算 ・2～3位数を1位数でわる除法と筆算形式 ・1位数でわる除法の暗算 （発展）	7 (11)	A(3) 内取(2)	A(高1)
	角の大きさ（4上）	B（5）角の大きさ P212 ア（ア）角の大きさを回転の大きさとして捉えること。 ア（イ）角の大きさの単位（度（°））について知り、角の大きさを測定すること。 イ（ア）図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりすること。	（レディネス） ・回転による角の大きさの意味 ・角度の単位「度」、1直角＝90°の単位関係 ・分度器を使った角度のはかり方 ・対頂角の性質 ・分度器を使った角のかき方、 三角形のかき方 （発展） ・分度器を使った三角形のかき方	8 (9)	B(5)	B(中2)
	小数のしくみ（4上）	A（4）小数の仕組みとその計算 P190 ア（ア）ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ること。 ア（イ）小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについて理解を深めること。 ア（ウ）小数の加法及び減法の計算ができること。 ア（エ）乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができること。 イ（ア）数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・小数の意味と表し方（小数 3下） ・小数の位取りの原理、小数の構成 ・小数を用いた数量の単名数表示の仕方 ・小数の順序、大小関係、 相対的な大きさ ・小数を10倍、1／10にしたときの数の表し方 ・小数の加減計算と筆算形式（小数第二位以下） （発展） ・小数の相対的な大きさ ・小数も整数と同じ十進構造になっていること	10 (13)	A(4)	A(高1)
	★わり算の筆算2（4上）	A（3）整数の除法 P186 ア（ア）除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。 ア（イ）除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。 ア（ウ）除法について、次の関係を理解すること。（被除数）＝（除数）×（商）＋（余り） ア（エ）除法に関して成り立つ性質について理解すること。 イ（ア）数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算のたしかめをしたりすること。	（レディネス） ・何十を1位数でわる除法計算（大きい数のわり算 3上） ・何十でわる除法計算 ・ 2 →3位数÷2位数、 3 位数÷3位数の除法と筆算形式 ・仮商のたて方と修正の仕方 ・除法について成り立つ性質 ・末尾に0のある除法の計算の工夫 （発展） ・3位数÷2位数、3位数÷3位数の除法と筆算形式	9 (14)	A(3) 内取(2)(3)(4)	A(高1)
予備				2	計50	

2 年次						
時期	単元名	内容（小学校学習指導要領 算数）	指導内容	指導時数	小・中学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
	★がい数の使い方と表し方（4上）	A（2）概数と四捨五入 P183 ア（ア）概数が用いられる場面について知ること。 ア（イ）四捨五入について知ること。 ア（ウ）目的に応じて四則計算の結果の見積もりをすること。 イ（ア）日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・概数の意味 ・四捨五入の意味と方法 ・数の範囲の表し方 ・和、差、 積、商 を概数で見積もること （発展） ・概数処理の種々の表現方法	6 (8)	A(2) 内取(2)	A(高1)
	★計算のきまり（4下）	A（6）数量の関係を表す式 P196 ア（ア）四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算すること。 ア（イ）公式についての考え方を理解し、公式を用いること。 ア（ウ）数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすること。 イ（ア）問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。 A（7）四則に関して成り立つ性質 P199 ア（ア）四則に関して成り立つ性質について理解を深めること。 イ（ア）数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えること。	（レディネス） ・（ ）を用いた式の計算順序 ・四則混合の式の計算順序 ・分配、交換、結合法則の理解と活用 ・乗法について成り立つ性質 （発展） ・交換、結合法則の理解と活用	6 (8)	A(6)(7) 内取(6)	A(高1)

前期／後期	★垂直、平行と四角形（４下）	B（１）平行四辺形、ひし形、台形などの平面図形 P201 ア（ア）直線の平行や垂直の関係について理解すること。 ア（イ）平行四辺形、ひし形、台形について理解すること。 イ（ア）図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。	（レディネス） ・角度の単位「度」、１直角＝９０°の単位関係（角の大きさ ４上） ・直線の垂直、平行の概念とひき方 ・平行線を活用してできる角の大きさの考察 ・台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質 ・いろいろな四角形の対角線の性質 （発展） ・台形、平行四辺形、ひし形のかき方	9 (13)	B(1) 内取(7)	B(中2) (高1)
	★分数（４下）	A（５）同分母分数の加法、減法 P193 ア（ア）簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ること。 ア（イ）同分母の分数の加法及び減法の計算ができること。 イ（ア）数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・真分数、仮分数、帯分数の概念、構成 ・数直線を基にした仮分数や帯分数の構成と相互関係 ・分数の相等関係と大小比較 ・同分母分数の加減計算 （発展） ・帯分数の概念、構成 ・数直線を基にした帯分数の構成と相互関係	7 (9)	A(5)	A(高1)
	変わり方調べ（４下）	A（６）数量の関係を表す式 P196 C（１）伴って変わる二つの数量 P214 ア（ア）変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。 イ（ア）伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。	（レディネス） ・未知の数量を□として、加法、減法、乗法の式で表し、□の値を求めること（□を使った式 ３下） ・２つの数量の対応関係を表に表したり、□や○を用いて式に表したりすること （発展）	5 (4)	A(6) C(1)	A(高1) C(高1)
	面積のはかり方と表し方（４下）	A（６）数量の関係を表す式 P196 B（４）平面図形の面積 P208 ア（ア）面積の単位（平方センチメートル(㎠)、平方メートル(㎡)、平方キロメートル(㎢)）について知ること。 ア（イ）正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解すること。 イ（ア）面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えるとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。	（レディネス） ・面積の意味 ・面積の単位「平方センチメートル、平方メートル、アール、ヘクタール、平方キロメートル」と単位の相互関係 ・長方形、正方形の面積（公式） ・複合図形の面積の求め方 （発展） ・面積の単位「アール、ヘクタール」と単位の相互関係 ・面積の単位と既習の単位との相互関係	6 (11)	A(6)B(4) 内取(8)	B(中2)

予備
1
計40

3 年次						
時期	単元名	内容（小学校学習指導要領 算数）	指導内容	指導時数	小・中学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
前期／後期	小数のかけ算とわり算（４下）	A（４）小数の仕組みとその計算 P190 ア（ア）ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ること。 ア（イ）小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについて理解を深めること。 ア（ウ）小数の加法及び減法の計算ができること。 ア（エ）乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができること。 イ（ア）数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・小数の位取りの原理、小数の構成（小数のしくみ ４上） ・小数に整数をかける乗法と筆算形式 ・小数を整数でわる除法と筆算形式 ・余りがある場合の余りの小数点の位置 ・わり進みのある除法計算 ・小数の意味の拡張（小数倍） （発展） ・小数の意味の拡張（帯小数倍、純小数倍）	10 (15)	A(4) 内取(5)	A(高1)
	★直方体と立方体（４下）	B（２）立方体、直方体などの立体図形 P204 ア（ア）立方体、直方体について知ること。 ア（イ）直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること。 イ（ア）図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。	（レディネス） ・直線の垂直、平行の概念とひき方（垂直、平行と四角形 ４下） ・直方体、立方体の概念、特徴、性質 ・展開図、見取り図の意味と書き方 ・直方体、立方体の面や辺の位置関係（垂直、平行） （発展） ・見取り図の意味と書き方 ・平面上や空間内の点の位置の表し方	6 (9)	B(2)(3)	B(高1)
	★偶数と奇数、倍数と約数（５上）	A（１）整数の性質 P234 ア（ア）整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを知ること。 ア（イ）約数、倍数について知ること。 イ（ア）乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・偶数、奇数の意味とその類別 ・倍数、公倍数、最小公倍数の意味とその見つけ方 ・約数、公約数、最大公約数の意味とその見つけ方 （発展） ・公倍数、最小公倍数の意味とその見つけ方 ・公約数、最大公約数の意味とその見つけ方	4 (12)	A(1) 内取(1)	A(高2)
	★分数と小数、整数の関係（５上）	A（４）分数の意味と表し方 P243 ア（ア）整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。 ア（イ）整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解すること。 ア（ウ）一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。 ア（エ）分数の相等及び大小について知り、大小を比べること。 イ（ア）数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察すること。 イ（イ）分数の表現に着目し、除法の結果の表し方を振り返り、分数の意味をまとめること。	（レディネス） ・分数の相等関係と大小比較（分数 ４下） ・十進数としての整数、小数（整数と小数 ５上） ・整数のわり算の商を分数で表すこと ・分数と小数、整数の相互関係 （発展） ・分数倍の意味	6 (6)	A(4)	A(高2)
	★割合（５下）	C（３）割合 P266 ア（ア）ある二つの数量の関係を別の二つの数量の関係をとを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。 ア（イ）百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。 イ（ア）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係を別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・除法の意味の拡張（倍の計算）（倍の見方 ４上） ・簡単な場合についての割合（倍の見方 ４上） ・割合の意味とその求め方 ・百分率の意味とその表し方 ・歩合の意味とその表し方 ・百分率を適用した計算方法 （発展）	9 (9)	C(3) 内取(4)	C(高1)
	★比（６）	A（２）文字を用いた式 ア（ア）数量を表す言葉や□、△などの代わりに、aやxなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。 イ（ア）問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。 C（２）比 P304 ア（ア）比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすること。 イ（ア）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係を比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・約数、公約数、最大公約数の意味とその見つけ方（偶数と奇数、倍数と約数 ５上） ・割合の意味とその求め方（割合 ５下） ・比の意味と表し方 ・比の値の意味と表し方 ・等しい比の意味と調べ方 （発展） ・比の相関関係とその活用、比例配分	8 (8)	A(2)C(2)	C(高2)
1						
2	3年間のまとめ					
3						

予備
1
計44

令和5年度「数学」（ダイヤグループ）年間指導計画	
【3年間の目標】	
知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。
思考力，判断力，表現力等	日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
学びに向かう力，人間性等	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを学習に活用しようとする態度を養う。

【単元の指導計画】

1 年次						
時期	単元名	内容（小学校学習指導要領 算数）	指導内容	指導時数	小学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
4		クラス毎のアセスメント（学習履歴・定着状況の把握→習熟度別グループ編製の検討）				
5						
6						
前期 ／ 後期	大きい数のしくみ（4上）	A（1）整数の表し方 P181 ア（ア）億、兆の単位について知り、十進位取り記数法について理解を深めること。 イ（ア）数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・一億までの数の位取りの原理、数の構成（大きい数のしくみ 3上） ・億、兆に及ぶ数の構成、命数法と記数法 ・10倍、1／10にした数の表し方 ・十進位取り記数法と十進数の意味 （発展） ・3位数同士の乗法の筆算 ・末尾に0のある乗法の筆算	6 (7)	A(1) 内取(1)(3)	A(高1)
	折れ線グラフと表（4上）	D（1）データの分類整理 P220 ア（ア）データを二つの観点から分類整理する方法を知ること。 ア（イ）折れ線グラフの特徴とその用い方を理解すること。 イ（ア）目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察すること。	（レディネス） ・資料の分類・整理の仕方、項目のとり方、表し方（ばうグラフと表 3下） ・棒グラフのよみ方、 かき方、有用性 （ばうグラフと表 3下） ・折れ線グラフの読み方（伴って変わる2量の関係、折れ線の傾きと変化の度合いの考察） ・折れ線グラフのかき方 ・折れ線グラフの読み取りと未測量の考察 ・資料を落ちや重なりがないように分類整理し、表にまとめること （発展） ・棒グラフと折れ線グラフの合わさったグラフの読み取り ・二次元表の表し方	8 (9)	D(1) 内取(9)(10)	D(中2)
	わり算の筆算1（4上）	A（3）整数の除法 P186 ア（ア）除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。 ア（イ）除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。 ア（ウ）除法について、次の関係を理解すること。（被除数）＝（除数）×（商）＋（余り） ア（エ）除法に関して成り立つ性質について理解すること。 イ（ア）数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算のたしかめをしたりすること。	（レディネス） ・ $a \div a$ 、 $0 \div a$ 、 $a \div 1$ の除法計算（わり算 3上） ・余りと除数の大きさの関係（あまりのあるわり算 3上） ・何十、 何百 を1位数でわる除法計算 ・ 2 —3位数を1位数でわる除法と筆算形式 ・1位数でわる除法の暗算 （発展） ・何百を1位数でわる除法計算 ・3位数を1位数でわる除法と筆算形式	8 (11)	A(3) 内取(2)	A(高1)
	角の大きさ（4上）	B（5）角の大きさ P212 ア（ア）角の大きさを回転の大きさとして捉えること。 ア（イ）角の大きさの単位（度（°））について知り、角の大きさを測定すること。 イ（ア）図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりすること。	（レディネス） ・回転による角の大きさの意味 ・角度の単位「度」、1直角＝90°の単位関係 ・分度器を使った角度のはかり方 ・対頂角の性質 ・分度器を使った角のかき方、 三角形のかき方 （発展） ・分度器を使った三角形のかき方	7 (9)	B(5)	B(中2)
	小数のしくみ（4上）	A（4）小数の仕組みとその計算 P190 ア（ア）ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ること。 ア（イ）小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについて理解を深めること。 ア（ウ）小数の加法及び減法の計算ができること。 ア（エ）乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができること。 イ（ア）数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・小数の意味と表し方（小数 3下） ・小数の位取りの原理、小数の構成 ・小数を用いた数量の単名数表示の仕方 ・小数の順序、大小関係、 相対的な大きさ ・小数を10倍、1／10にしたときの数の表し方 ・小数の加減計算と筆算形式（小数第二位以下） （発展） ・小数の相対的な大きさ ・小数も整数と同じ十進構造になっていること	10 (13)	A(4)	A(高1)
	★わり算の筆算2（4上）	A（3）整数の除法 P186 ア（ア）除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。 ア（イ）除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。 ア（ウ）除法について、次の関係を理解すること。（被除数）＝（除数）×（商）＋（余り） ア（エ）除法に関して成り立つ性質について理解すること。 イ（ア）数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算のたしかめをしたりすること。	（レディネス） ・何十を1位数でわる除法計算（大きい数のわり算 3上） ・何十でわる除法計算 ・ 2 —3位数÷2位数、 3 位数÷3位数の除法と筆算形式 ・仮商のたて方と修正の仕方 ・除法について成り立つ性質 ・末尾に0のある除法の計算の工夫 （発展） ・3位数÷2位数、3位数÷3位数の除法と筆算形式	9 (14)	A(3) 内取(2)(3)(4)	A(高1)
予備				2	計50	

2 年次						
時期	単元名	内容（小学校学習指導要領 算数）	指導内容	指導時数	小・中学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
	★がい数の使い方と表し方（4上）	A（2）概数と四捨五入 P183 ア（ア）概数がいられる場面について知ること。 ア（イ）四捨五入について知ること。 ア（ウ）目的に応じて四則計算の結果の見積もりをすること。 イ（ア）日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・概数の意味 ・四捨五入の意味と方法 ・数の範囲の表し方 ・和、差、積、商を概数で見積もること （発展） ・概数処理の種々の表現方法	6 (8)	A(2) 内取(2)	A(高1)
	★計算のきまり（4下）	A（6）数量の関係を表す式 P196 ア（ア）四則の混合した式や（）を用いた式について理解し、正しく計算すること。 ア（イ）公式についての考え方を理解し、公式を用いること。 ア（ウ）数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりすること。 イ（ア）問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。 A（7）四則に関して成り立つ性質 P199 ア（ア）四則に関して成り立つ性質について理解を深めること。 イ（ア）数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えること。	（レディネス） ・（）を用いた式の計算順序 ・四則混合の式の計算順序 ・分配、 交換 、結合法則の理解と活用 （発展） ・交換、結合法則の理解と活用 ・乗法について成り立つ性質	6 (8)	A(6)(7) 内取(6)	A(高1)

前期 ／ 後期	★垂直、平行と四角形（４下）	B（１）平行四辺形、ひし形、台形などの平面図形　P201 ア（ア）直線の平行や垂直の関係について理解すること。 ア（イ）平行四辺形、ひし形、台形について理解すること。 イ（ア）図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直すこと。	（レディネス） ・角度の単位「度」、１直角＝９０°の単位関係　（角の大きさ　４上） ・直線の垂直、平行の概念とひき方 ・平行線を活用してできる角の大きさの考察 ・台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質 （発展） ・台形、平行四辺形、ひし形のかき方 ・いろいろな四角形の対角線の性質	9 (13)	B(1) 内取(7)	B(中2) (高1)
	★分数（４下）	A（５）同分母分数の加法、減法　P193 ア（ア）簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知ること。 ア（イ）同分母の分数の加法及び減法の計算ができること。 イ（ア）数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、計算の仕方を考えたりするとともに、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・真分数、仮分数、 帯分数 の概念、構成 ・数直線を基にした仮分数や 帯分数 の構成と相互関係 ・分数の相等関係と大小比較 ・同分母分数の加減計算 （発展） ・帯分数の概念、構成 ・数直線を基にした帯分数の構成と相互関係	8 (9)	A(5)	A(高1)
	変わり方調べ（４下）	A（６）数量の関係を表す式　P196 C（１）伴って変わる二つの数量　P214 ア（ア）変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴を読み取ったりすること。 イ（ア）伴って変わる二つの数量を見だして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察すること。	（レディネス） ・２つの数量の対応関係を表に表したり、 □や○を用いて 式に表したりすること （発展） ・２つの数量の対応関係を□や○を用いて式に表すこと	4 (4)	A(6) C(1)	A(高1) C(高1)
	面積のはかり方と表し方（４下）	A（６）数量の関係を表す式　P196 B（４）平面図形の面積　P208 ア（ア）面積の単位（平方センチメートル(㎠)、平方メートル(㎡)、平方キロメートル(㎞ ²)）について知ること。 ア（イ）正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解すること。 イ（ア）面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。	（レディネス） ・面積の意味 ・面積の単位「平方センチメートル、平方メートル、 アール、ヘクタール 、平方キロメートル」と単位の相互関係 ・長方形、正方形の面積（公式） ・複合図形の面積の求め方 （発展） ・面積の単位「アール、ヘクタール」と単位の相互関係 ・面積の単位と既習の単位との相互関係	6 (11)	A(6)B(4) 内取(8)	B(中2)

予備

1
計40

3 年次						
時期	単元名	内容（小学校学習指導要領　算数）	指導内容	指導時数	小・中学校 学習指導要領	特別支援学校 学習指導要領
前期 ／ 後期	小数のかけ算とわり算（４下）	A（４）小数の仕組みとその計算　P190 ア（ア）ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ること。 ア（イ）小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについて理解を深めること。 ア（ウ）小数の加法及び減法の計算ができること。 ア（エ）乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができること。 イ（ア）数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えとともに、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・小数の位取りの原理、小数の構成　（小数のしくみ　４上） ・小数に整数をかける乗法と筆算形式 ・小数を整数でわる除法と筆算形式 ・わり進みのある除法計算 （発展） ・余りがある場合の余りの小数点の位置 ・小数の意味の拡張（小数倍） ・小数の意味の拡張（帯小数倍、純小数倍）	8 (15)	A(4) 内取(5)	A(高1)
	★直方体と立方体（４下）	B（２）立方体、直方体などの立体図形　P204 ア（ア）立方体、直方体について知ること。 ア（イ）直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること。 イ（ア）図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すこと。	（レディネス） ・直線の垂直、平行の概念と ひき方 （垂直、平行と四角形　４下） ・直方体、立方体の概念、特徴、性質 ・展開図、見取り図の意味と 書き方 ・直方体、立方体の面や辺の位置関係（垂直、平行） （発展） ・展開図、見取り図のかき方 ・平面上や空間内の点の位置の表し方	7 (9)	B(2)(3)	B(高1)
	★偶数と奇数、倍数と約数（５上）	A（１）整数の性質　P234 ア（ア）整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることを知ること。 ア（イ）約数、倍数について知ること。 イ（ア）乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・偶数、奇数の意味とその類別 ・倍数、 公倍数、最小公倍数 の意味とその見つけ方 ・約数、 公約数、最大公約数 の意味とその見つけ方 （発展） ・公倍数、最小公倍数の意味とその見つけ方 ・公約数、最大公約数の意味とその見つけ方	5 (12)	A(1) 内取(1)	A(高2)
	★分数と小数、整数の関係（５上）	A（４）分数の意味と表し方　P243 ア（ア）整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること。 ア（イ）整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解すること。 ア（ウ）一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解すること。 ア（エ）分数の相等及び大小について知り、大小を比べること。 イ（ア）数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察すること。 イ（イ）分数の表現に着目し、除法の結果の表し方を振り返り、分数の意味をまとめること。	（レディネス） ・分数の相等関係と大小比較（分数　４下） ・十進数としての整数、小数（整数と小数　５上） ・整数のわり算の商を分数で表すこと ・分数と小数、整数の相互関係 （発展） ・分数倍の意味	6 (6)	A(4)	A(高2)
	★割合（５下）	C（３）割合　P266 ア（ア）ある二つの数量の関係を別の二つの数量の関係をとを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。 ア（イ）百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。 イ（ア）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係を別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・除法の意味の拡張（倍の計算）　（倍の見方　４上） ・簡単な場合についての割合　（倍の見方　４上） ・割合の意味とその求め方 ・百分率の意味とその表し方 ・歩合の意味とその表し方 （発展） ・百分率を適用した計算方法	9 (9)	C(3) 内取(4)	C(高1)
1 2 3	★比（６）	A（２）文字を用いた式 ア（ア）数量を表す言葉や□、△などの代わりに、aやxなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。 イ（ア）問題場面の数量の関係に着目し、数量の関係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすること。 C（２）比　P304 ア（ア）比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくらったりすること。 イ（ア）日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かすこと。	（レディネス） ・約数、公約数、最大公約数の意味とその見つけ方　（偶数と奇数、倍数と約数　５上） ・割合の意味とその求め方　（割合　５下） ・比の意味と表し方 ・比の値の意味と表し方 ・等しい比の意味と 調べ方 （発展） ・等しい比の調べ方 ・比の相関関係とその活用、比例配分	8 (8)	A(2)C(2)	C(高2)
			3年間のまとめ			

予備

1
計44